

夏休みは、妖怪と一緒にミュージアムを楽しもう！

ナイトミュージアム☆

普段は入れない夜のミュージアムで、夏休みの特別な思い出を作りませんか？

- 開催日** 8月1日(土)、8日(土)、11日(火・祝)
- 開催時間** ① 午後6時30分～8時30分
② 午後7時～9時
- 定員** 各回先着10組限定
- 参加費** 日中の観覧料と同額
- 申込方法** 専用フォームから申込み



申込はこちら▲

体験コーナー

- オリジナルの妖怪を考える
- AIによる妖怪生成体験



クロスワードラリー

館内やミュージアム周辺に隠れた妖怪を探して、クロスワードを完成させよう！
オリジナルステッカーをプレゼント！
(数量限定)



ようかい 妖怪 ミュージアム

開催中 ～ 8月23日(日)

皆さんは妖怪がどこからやってきたのか、考えたことはありますか？

人々は昔から、説明できない不思議なできごとや存在に形を与え、それを総称して「妖怪」として語り継がれてきました。目に見えない恐ろしいものに名前をつけることで、恐怖を和らげる役割もあったと考えられます。たとえば、「川で遊ぶと河童に引きずり込まれる。」という言い伝えがありますが、これは、子どもの水難事故を防ぐための大人たちの知恵ともいわれています。このように、日本では古くから、自然の脅威や戒め、教訓などを後世に伝えるための知恵として、妖怪を軸としたさまざまな伝承が語り継がれてきました。妖怪は単なる“怖いもの”ではなく、人々が自然と共に生きるための術を伝える存在でもあったのです。

「妖怪ミュージアム」では、いにしへの妖怪から現代の少しユーモラスな妖怪まで、香川県・小豆島の妖怪美術館の協力のもと、さくら市の伝承にも触れながら、妖怪造形作品や絵画などを展示します。怖いだけでなく、不思議でちょっと面白い、そんな妖怪たちと一緒に、夏のミュージアムに出かけてみませんか？

なんかようかい？

こんな妖怪もいるよ！

魚面人

家に棲みつく恥ずかしがり屋の妖怪。金魚が好きで友達になるために、深夜に現れて夢中で餌をあげている。



サテライト会場

「妖怪ミュージアム」期間中は、サテライト会場として、瀧澤家住宅でも妖怪に関する展示！
※詳しくはP28をご覧ください
※妖怪ミュージアムのチケット半券を提示で、観覧料無料

市民は一般料金の半額！

- 場所** さくら市ミュージアム
- 時間** 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日** 月曜日(祝日は開館)、7月21日(火)、8月12日(水)、18日(火)
- 料金** 一般1,200円、大学生以下・市内在住者600円 ※住所記載の身分証明書をご提示ください ※支払いは現金のみ
- 主催** さくら市ミュージアム / 下野新聞社
- 企画・協力** 妖怪美術館(香川県小豆島)

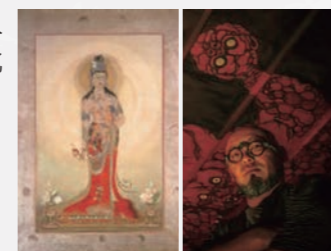
※内容は変更になる場合があります

© Chubei Yagyu

展示内容を一部紹介！

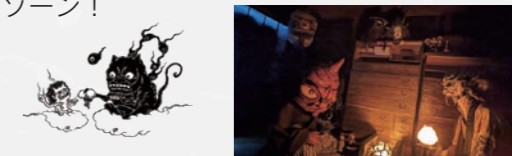
仏と妖怪

さくら市出身の日本画家で仏画を描いた荒井寛方と、香川県小豆島にある妖怪美術館館長である妖怪画家の柳生忠平。
時代を超えた2人の作家の作品を対比的に展示します。



妖怪肝だめし

造形作家「妖怪衆おどろ」による作品を中心に展開される、子どもから大人まで楽しめる肝試しゾーン！



百鬼騒乱 - 災いと妖怪伝承 -

さくら市の伝承に合わせた現代作家の妖怪画などを展示。

現代の妖怪「活字吸い」
(妖怪美術館所蔵)

